One MIZUHO

市場営業部 為替営業第二チーム

みずほCustomer Desk Report 2019/11/13 号(As of 2019/11/12)

U/ / 100 UUU	COILLE DESK	(713 UI ZUIU	/ 1 1/ 12/		
【昨日の市況概要	•]			公示仲值	109.18
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	109.05	1.1035	120.34	1.2856	0.6849
SYD-NY High	109.29	1.1040	120.63	1.2873	0.6857
SYD-NY Low	108.93	1.1003	119.96	1.2816	0.6832
NY 5:00 PM	109.02	1.1009	119.98	1.2844	0.6840
NY DOW	27,691.49	0.00	日本2年債	-0.17	2.00bp
NASDAQ	8,486.09	21.81	日本10年債	-0.04	3.00bp
S&P	3,091.84	4.83	米国2年債	1.661	▲1.81bp
日経平均	23,520.01	188.17	米国5年債	1.733	▲1.65bp
TOPIX	1,709.67	5.64	米国10年債	1.927	▲1.74bp
シカゴ日経先物	23,495.00	115	独10年債	-0.2555	▲0.95bp
ロントンFT	7,365.44	36.90	英10年債	0.8040	▲0.35bp
DAX	13,283.51	85.14	豪10年債	1.2725	▲1.40bp
ハンセン指数	27,065.28	138.73	USDJPY 1M Vol	5.30	0.20%
上海総合	2,914.82	4.85	USDJPY 3M Vol	5.78	0.00%
NY金	1,453.70	▲ 3.40	USDJPY 6M Vol	6.30	0.02%
WTI	56.78	▲ 0.08	USDJPY 1M 25RR	-0.75	Yen Call Over
CRB指数	179.80	0.39	EURJPY 3M Vol	6.33	▲0.04%
ドルインデックス	98.33	0.13	EURJPY 6M Vol	6.74	0.03%

=	東京時間のドル円は109.05レベルでオープン。午前はオープン直後に安値の108.99をつけた後仲値にかけて小幅に上昇し、
2	109.15レヘルで揉み合いに。午後は日経平均の上昇に後押しされる形でトル円も上昇し、高値の109.29近辺である109.28レ
	ベルで海外へ渡った。

ロントン市場のトル円は、109.28レヘルでオープン。材料が特段出なかったこともあり109.14-29の狭いレンジで推移し109.16レヘル でNYに渡った。ポント・ルは、1.2864レベルでオープン。昨日の上昇から反落となり一時1.2816まで下落。英9月までの雇用統計 は雇用者数は予想を上回る一方で賃金が予想を下回る強弱入り混じった結果で影響は限定的。その後はもみ合って 1.2835レベルでNYに渡った。(ロンドントールフリー 00531 444 179 神田)

海外市場のドル円は、新規材料に欠ける中、108.99から109.29での狭いレンジでの推移が続き、109.16レベルでNYオープン。 朝方は、主要な米経済指標の発表が予定されていない中、ドル円は狭いレンジでの推移が続くが、株式市場が堅調に推移 する動きを受け、109.24まで上昇する。午後に開始されたトランプ大統領の講演では、「中国とのフェーズ1の合意は近い」との 発言が伝わる一方、「中国と合意なければ、関税を引き上げる」との発言を受け株式市場が軟化する展開に、108.93まで 反落する。か「ロー国家経済会議委員長が「トランプ大統領から滅税第2弾を検討するように指示された」と発言をしたことから、 ┣トル円は下げ渋り、109.02レベルでクローズした。一方、海外市場のユー마゙ルも新規材料に欠ける中、狭いレジ・での推移が続 き、1.1019レヘルでNYオープン。朝方は、米株式市場が堅調に推移し、米金利も上昇したことからユー마ルは1.1003まで下落 する。午後に入り、1.1020まで戻す局面もあったものの、中国と合意がなかった場合を懸念し株式市場が反落する展開に ユーロ円の売りが強まり、1,1006まで反落する。終盤に掛けては、狭いレン・での推移が続き、1,1009レヘルでクロース・した。(NY

【昨日の指標等】

Date	Time		Event		結果	予想
11月12日	18:30 19:00 19:30	英 独 米	週平均賃金(除賞与/3ヵ月/前年比) ZEW調査(現状/期待) クラリダFRB副議長 講演	9月 11月	3.6% -24.7/-2.1 インフレ率低下で金融政策	3.8% -22.3/-13 6運営が課題に

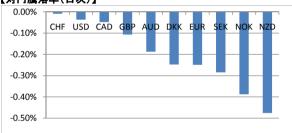
【本日の予定】

Date	Time		Event		<i>予想</i>	前回
11月13日	16:00	独	CPI(前月比/前年比)·確報	10月	0.1%/1.1%	0.1%/1.1%
	18:30	英	CPI(前月比/前年比)	10月	-0.1%/1.6%	0.1%/1.7%
	19:00	欧	鉱工業生産(前月比/前年比)	9月	-0.2%/-2.3%	0.4%/-2.8%
	22:30	米	CPI(前月比/前年比)	10月	0.3%/1.7%	0%/1.7%
11月14日	01:00	米	パウエルFRB議長 講演	-	_	_
	03:30	米	カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	-	_	_

【ドル円相場】

【対円騰落率(日次)】





【マーケット・インプレッション】 燻る懸念の中でもまずは110円台へ

米中貿易摩擦緩和期待やBrexit延期など、今年マーケットを騒がしてきたリスクオフ要因は一旦影を潜め、月初来のドル 円は約10ヶ月ぶりの高値水準となる109.49円まで上昇。前月末のFOMCで利下げ打ち止めが示唆されたものの、米株が 大きな落ち込みなく連日史上最高値を更新する動きから、市場参加者のセンチメント改善が窺える。月内は110円レベ ルでの実需筋の戻り売りが意識されつつも、堅調な株価を横目にドル円は緩やかに上昇し、筋目となる110円を突破す る展開を予想する。

一方で、米中首脳会談、対中関税発動、英国総選挙、Brexit期限、FOMCなど重要イベントも多く控えており、円安一辺 倒を想定するにも多くの懸念事項が燻っているのも事実である。今でこそ「燻り」といった表現に留まるものの、12月に入 れば再度これらに対する警戒感に火がつくことは否定出来ない。先週末、トランプ大統領が発動済みの対中関税撤廃 について「合意していない」と否定したことを受けてドル円上昇が一服したように、過去数週間で米中合意への期待感が 大きく高まってしまっただけに、今後はネガティブなヘッドラインに対して、より敏感に反応しやすくなるだろう。流動性が 薄くなる年末にかけては想定を超えるドル円急落にも警戒が必要だ。

こうした点を総合的に考え、月内はドル円の上昇トレンドが継続、110円を一時的に突破するものの滞空時間は短く、12 月以降年末にかけて徐々に上値を切り下げる展開を見込んでいる。ドル円が110円近辺を推移する今月内の一定程度 のドル売りヘッジを推奨したい。(小野崎順基)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基 づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投 資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で 引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希 望する旨をお申し出ください。

ブル ブル Today ベア ベア ベア ブル ベア ブル ブル | Week | ベア | ベア | ベア | ブル | ブル | ブル ベア

